

学校名：座間市立立野台小学校

担当：第2学年

氏名：山岸 真喜子

1. 今回の研修における目的やねらい

- (1) 国際理解教育・開発教育についての理解を深め、得た知識や資料を実際に授業で使えるようにすること。
- (2) 海外で働く日本人から直接話を聞くことで、児童に日本のODA・ボランティアの活動の現状を身近に感じてもらうこと。
- (3) 児童がタンザニアに興味を持つような写真・動画・教材を集めること。

2. 目的やねらいがどのくらい達成されたか

- (1) 事前の国内研修で、様々なアクティビティを学んだ。また、タンザニアでは1日の振り返りの時間や移動中に異校種の教員とも話し合い、その日に感じたことなどを共有することができた。これからはしっかりとまとめてよい授業展開が作れるようにしたい。
- (2) それぞれの訪問先でお話を伺うことができた。日本とは異なる環境で苦勞も多いと思うが、現地暮らしに溶け込んで一緒に仕事をしている姿に感動したし、日本人が世界をよりよくしようとしていることを誇りに思った。児童にも、より分かりやすく伝えたい。
- (3) 事前に児童に行ったアンケートで「動植物・お店・学校等の写真を撮ってきてほしい。」とあったので、なるべく興味を持ちそうな物を中心に撮影した。低学年の児童が好みそうな楽器も数種類購入することができた。

3. タンザニアから学んだこと

- ・タンザニアも日本も同じところが多いこと。遠く離れたアフリカ大陸でも、同じ地球上であることに変わりはないことを実感した。特に子どもの反応は日本と同じところが多く、微笑ましかった。
- ・すれ違う人にも挨拶をする文化が素敵だった。また、訪問したどの学校も校歌を上手に歌っていた。学校を訪問した際、子どもたちがすぐに席を詰めて譲ってくれたことも印象的だった。タンザニアのよいところをなるべく多く児童に伝えたい。

4. 今回の研修経験をどのように教育活動に活用しようと思っているか

- ・ティンガティンガ、楽器、カンガ、米などに触れさせ、気づいたことや、よさを発表させる。
 - ・「好きな食べ物」アンケートをきっかけに、食文化について知る楽しみや、タンザニアで行われている稲作について学ばせる。
 - ・電気・水・道路等、ライフラインの大切さに気づくアクティビティを取り入れる。
 - ・世界で働く日本人に焦点を当て、頑張っている姿を紹介する。
- 以上のことを中心に授業を展開し、まずは少しでもタンザニアのことを好きになってほしい。できれば他学年等にも活動を広げたい。

5. 今回の研修に参加してよかったことや、よりよくするための提案

- ・国内研修で開発教育について学べてよかった。
- ・3か所の学校に行くことができ、交流もその分時間をとっていただけたため、実際に子どもと関わる時間が多く嬉しかった。
- ・ダルエスサラームとモシの異なる雰囲気のある町を経験でき、勉強になった。
- ・ローアモシ地域の農家で一緒にご飯を作らせてもらう等、農村の暮らしを体験できたのがよかった。
- ・ゆとりのあるスケジュールだったため、体調を崩さず元気に過ごせた。

6. 海外研修での役割（各担当や日直）を振り返っての感想・提案など

- ・それぞれの係の人はもちろん、その場に応じて助け合って仕事ができたとと思う。
- ・私はホテル係だったが、英語の得意な先生にフロント対応を任せてしまった。ホテル係はフロントとの交渉が必要なため、英語が得意な先生がいることが望ましい。
- ・毎日の振り返りの時間に、体調チェック（自己申告）があったのはよかった。

7. その他、研修全般を通じての感想・意見など

今回の研修にあたり、JICA 横浜・山梨のスタッフの皆様、タンザニア事務所の皆様、事前研修に関わって下さった方々、また、訪問させていただいた全ての場所で出会った方々に感謝している。お忙しい中いろいろな資料を準備して下さったり、プログラムを組んでいただいたりと本当にお世話になった。そして、一緒に行程を共にした先生方とは、終始楽しく過ごせてよかった。情報を共有しながらよりよい授業を作っていきたい。

8. 今後の本研修参加者へのアドバイスなど

小学生はほとんどの子がスワヒリ語しか話せなかったもので、なるべくスワヒリ語を覚えておくコミュニケーションがとりやすいと思った。現地の人、特に子どもとのコミュニケーションは現地の言葉が必要なので、ある程度覚えておくとうい。

9. 各訪問先等の所感

日時	テーマ	所感
8月10日(月)	日本からタンザニアまでの移動中および現地到着	ダルエスサラームの空港からホテルまでの道のりは、建物や車の数に圧倒され、自分の中に持っていた「アフリカ」のイメージが崩された。渋滞中の車には、物売りやお金を欲しがると子どもが寄ってきたが、嫌な感じはしなかった。
8月10日(月)	JICA タンザニア事務所表敬研修ブリーフィング	長瀬所長の話の中に、「タンザニアで働いている人たちは感度が高いので、いろいろ学ぶとよい。」とあり、これからの研修がより楽しみになった。安全対策ブリーフィングでは、阿部所員からダルエスサラームを中心にここ数年で犯罪が増えていることを聞いた。また、国民選挙を控えていることもあり気を引き締めて行動しなければと思った。

8月10日(月)	JICA 所員との懇親会	阿部所員からお話を聞くことができた。ダルエスサラームの水道水は海に近いので塩分を含んでいることや、学童保育の制度がないこと、いろいろな宗教の人がいること等聞けて楽しかった。アフリカの地に暮らし、活躍している日本人から実際に話を聞くことができ刺激になった。
8月10日(月)	本日のふりかえり	ダルエスサラームに到着した感想・明日の予定の確認など。
8月11日(火)	JICA タンザニア事務所 研修ブリーフィング	事業概要(天津次長) タンザニアはよい意味でも悪い意味でも世界とあまりつながっていないため、周りからの影響を受けにくいという話が興味深かった。 教育セクター(阿保調整員) 小学校を卒業できる人が全体の50%と聞き、義務教育を徹底できればと思った。ノバトスさんから大学に女性がたくさん通っていること、社会でも女性が活躍していることを聞き、驚いた。 電力セクター(宮城所員) タンザニアでは電気にアクセスできている人は全体の25%らしい。ガス田が発見されている話も興味深く、タンザニアの発展が予想された。 農業セクター(本間次長) タンザニアの6割は農家であり、その90%はメイズを作っている。生産性を上げるためには、やはり基礎学力が大切なのと思った。タンライス2のトレーニングシステムについて学んだ。
8月11日(火)	本日のふりかえり	事務所で話を聞いた感想・授業案・明日の中等学校訪問の確認(クラス分け・持ち物等)。
8月12日(水)	キリマンジャロへ移動	国内線で移動。到着した時の空気の冷たさに驚いた。ダルエスサラームでは見なかった木や鳥に興奮した。車窓には一面のメイズ畑。マサイ族が家畜を放牧している風景を見ることができた。
8月12日(水)	キリング中等学校 赤木隊員活動視察	広い敷地を現地の教員の方々が案内してくれた。赤木隊員の数学の授業を見学させてもらった。スワヒリ語の授業以外は英語で教えているため、英語が苦手な子は授業内容が分からなくなってしまうらしい。 交流の時間は2クラスに分かれて行った。準備したJumbo Bwanaや自己紹介に盛り上がってくれて嬉しかった。「あなたの幸せに必要なものは？」アンケートは圧倒的に「教育」を選んだ子が多く驚いたが、その後の隊員の話で「教育」が大切だと言うように教育されていることが分かった。最

		<p>後に校歌を歌ってもらい、感激した。</p> <p>外でソーラン節を踊った後、生徒がアフリカの踊りを踊ってくれたので一緒に踊ってみたが難しかった。</p>
8月12日(水)	モシへ移動	<p>赤木隊員がマーケットを案内してくれた。マサイ族の布を購入した。色とりどりの野菜や生活雑貨に溢れ、活気があった。小学校の制服も売っていた。</p>
8月12日(水)	隊員との懇談会	<p>植松隊員・江波戸隊員・平川隊員・福山隊員とローカル食堂へ。小学校でも体罰が当たり前になっており、教師との上下関係がはっきりしているとの話を伺った。植松隊員と明日の訪問の確認をした。</p>
8月12日(水)	本日のふりかえり	<p>中等学校で気づいたこと・アンケート結果の共有。明日の自己紹介で使用する画用紙作りと、日本の子どもが作ったカードの模造紙への貼り付け作業。授業中にカメラを出しすぎると子どもが集中できないので、記録係に任せることにした。</p>
8月13日(木)	カラंगा小学校 植松隊員活動視察	<p>算数と英語の授業を見学した。私の隣に座っていた子は12歳と言っていたが、1桁-1桁の計算もノートに棒を描いてからではないとできなかった。全体的に集中して授業を受けていた。板書された問題を写す形で授業が進んでいたため、教科書が1人1冊あれば便利であると思った。英語の授業は、前で自己紹介を発表した児童に教師が飴をあげていた。</p> <p>交流の時間には、「自分が何をしているときに楽しいか。」裏には「自分の性格」を画用紙に描いてもらった。国家試験の勉強のため、自分で創造する学習をあまりしていないらしく、周りの真似をするなど、あまり多様な意見は出なかった。日本から持ってきた子どもの作品を渡せてよかった。</p> <p>校庭で中休みに大縄跳びで一緒に遊んだ。リズムがつかめないらしく、なかなか跳べなかったが楽しかった。どの子どもとても人懐っこくかわいらしかった。ソーラン節を踊った時に一緒に掛け声をかけてくれた。とても明るい感じの校歌も歌ってくれた。子どもたちが「明日も来てね!」と言ってくれて嬉しかった。</p>
8月13日(木)	警察学校 江波戸隊員活動視察	<p>警察学校に行く前にスワヒリ語の教科書を購入することができた。</p> <p>敷地が広く驚いた。警察犬や馬を見せていただいた。訓練生の宿舎は2段ベッドがぎっしり置い</p>

		てありよい環境とは言えなかった。柔道の練習を見せてもらったが、硬い床でやっていたので危ないと思った。平川隊員の言っていた通り、柔道用の畳が必要であることを実際に見て実感した。
8月13日(木)	本日のふりかえり	小学校・警察学校で気づいたことの共有。カメラを絞ってよかった、1人の子に長くインタビューをしたほうがよいのでは等。途中でキリマンジャロ山が見えたのでホテルの屋上で観賞会をした。とても大きく綺麗で美しかった。ホテルでの夕食の時に停電があった。
8月14日(金)	タンライスプロジェクト視察	タンライスの前に州の行政長官を表敬訪問し、テレビの取材を受けた。KATCに着くまでの道は舗装されておらず、砂埃とアップダウンの連続だった。レンガ造りの家が増え、農村地域の暮らしを見ることができた。 KATCの施設で説明を聞いた。メンテナンスという概念がないこと、技術の受け継ぎが難しいこと、上流と下流で水の管理が難しいこと等を教わった。アフリカの大地に日本と同じような水田があることに驚いた。途中、バオバブの木も見ることができた。
8月14日(金)	専門家との懇親会	大泉専門家のご家族、JICAの井上さんと一緒に食事をした。モシのインターナショナルスクールにお子さん2人を通わせているため、学校事情なども聞いて興味深かった。停電があった。
8月14日(金)	本日のふりかえり	タンライスの情報共有。翌日の農家へのインタビューの確認。
8月15日(土)	タンライスプロジェクト農村視察	私たちのグループはラオヤカティ村を訪問した。そもそも「家族」という概念があまりないのかいろいろな人が出入りするお宅だった。新しく建てているお家の中でいろいろとお話を聞くことができた。 お昼ご飯の準備を手伝わせてもらった。三ツ石のかまどは煙がすごく、常にここで調理をするのは大変だと思った。言葉は通じないが、ウガリやスープを一緒に作って楽しかった。 近くにある井戸の水は無料の物と有料の物があった。
8月15日(土)	市内視察	モシの隊員の方がマーケットを案内してくれた。以前モシにいたJOCVの知り合いという女性と一緒に写真を撮ってくれた。JOCVが日本のよい印象を作ってくれたおかげだと思った。
8月15日(土)	本日のふりかえり	農村での気づきの共有。明日の飛行機の確認。

8月16日(日)	ダルエスサラームへ移動	朝6時過ぎに外に出たらキリマンジャロ山がとても綺麗に見えた。国内線で移動。途中ザンジバル島に着陸。海がきれいだった。モシの農村風景と涼しい風に慣れていたため、ダルエスサラームがとても都会に感じた。
8月16日(日)	専門家との懇親会	TANESCOの関係者の方とお話しできた。JICAの足立さんの娘さんも来てくれた。タンザニアの人は地図が読めない人が多いこと、学歴や卒業した学部によって仕事上の扱われ方が違うことを知り、勉強になった。
8月16日(日)	本日のふりかえり	昨日それぞれの農家で聞き取ったことの共有。小学校・中高に分かれて授業案について話し合い。
8月17日(月)	タンザニア電力供給公社(TANESCO)プロジェクトサイト視察	日本でもなかなか見ることのできない変電所の様子を見ることができた。現地の人に技術を教えるでも上手く広がらないことや、対等な立場で仕事をしていること、相手を信じて仕事をしていること等を聞いた。
8月17日(月)	市内視察・教材購入	ティンガティンガ村やモールで教材を購入した。海がきれいだった。
8月17日(月)	本日の振り返り	TANESCOで気づいたことの共有。翌日の小学校訪問の確認。
8月18日(火)	ムランディジ小学校三隅隊員活動視察	県庁へ行き、県知事代理の方(教育セクション)を表敬した。道路が渋滞した上に途中で事故もあったので、小学校到着が遅れてしまった。 「好きな食べ物」アンケートを取った。ウガリや魚が多かった。その後、知的障害・聴覚障害クラスを見ることができた。重度の子は親が学校に行かせたがらないという話を聞いた。 ソーラン節の掛け声を気に入ってくれた。校歌も歌ってくれた。とても上手で感動した。
8月18日(火)	市内視察・教材購入	スーパーで教材用に米やCDを購入した。産業が発達していないと聞いていたが、周辺国からの輸入品が多かった。
8月18日(火)	JICA 所員との懇親会	タンザニアで学んだことを1人ずつ発表した。
8月18日(火)	本日のふりかえり	小学校で気づいたことの共有。翌日の予定の確認。
8月19日(水)	JICA タンザニア事務所 報告会および記者発表会	代表者が英語で報告した。記者の方から質問もあり、和やかな雰囲気だった。
8月19日(水)	在タンザニア日本大使館 表敬訪問	大使に質問する時間があった。ジェンダーの問題を解決するために女子寮を作っていること、開発・支援についての考え方、日本のよさ等いろいろお話を伺うことができた。

8月19日(水) -20日(木)	タンザニアから日本までの 移動中および日本到着	ドーハの空港で最後の振り返りと手紙交換をした。行きよりも飛行時間が短く感じた。あっという間の10日間だった。
---------------------	----------------------------	--